

I

5 10 15 20 25

1 調は絹・糸や海産物など地方産物を納めるもので、庸は歳役にかえ布を納めるものだった。ともに人頭税として計帳に基づき正丁中心に課され、国司の監督下、郡司のもとでまとめられたのち、農民から選ばれた運脚により都まで運ばれた。2 受領が公領において開発領主の領域支配を承認し、その領域を郡・郷・保に再編成すると、開発領主は郡司・郷司・保司に任命されて徴税を請負い、その地位を世襲して公領の私領化を進めた。3 国家的行事の際に守護を通じ田地・家屋へ課す段銭・棟別銭、交通の要所に設けた関所あるいは港で通行税として課す関銭・津料、室町幕府が朝廷から奪取した京都市政権を前提に京都の金融業者へ課す倉役・酒屋役などがあった。4 分地制限令は、名主・一般百姓それぞれの持ち高の最低限度を設定し、それ以下の者の分地を禁じたもので、分割相続による経営規模の細分化を防ぎ、年貢負担者である本百姓の経営を維持させることを目的とした。

II

5 10 15 20 25

1 徳川家が駿府に移封されると、多くの旧幕臣がそれに
従った。また、参勤交代にもとづき江戸に居住していた
武家奉公人らの多くが帰国した。武家人口の減少にとも
ない、開港場の横浜などに移転する町人もいて、東京の
5 人口は急減した。2 『最暗黒の東京』松原岩五郎・『日本
之下層社会』横山源之助。3 経済発展により都市化が進
むなか、工場が集中する東京への農村からの人口流入が
相次いだ。特に関東大震災以降、市内の人口が飽和状態
だったこともあり、鉄道網の整備とともに、文化住宅が
10 郊外に次々に建設され、新中間層を中心に人口が急増し
た。4 日中戦争・太平洋戦争にともなう徴兵に加え、戦
局悪化後には徴兵適齢文科系学生も徴兵された。戦争末
期には、米軍の空襲による死者増加、学童疎開などによ
り、東京の人口は急減した。戦後は戦地や疎開地からの
15 帰郷、婚姻急増に伴う出生人口の増加、経済復興による
地方からの労働者流入により東京の人口は増加した。

III

5 10 15 20 25

1 ①15、②新婦人協会、③治安警察法、④日本社会党。
2 戸主権の強い明治民法下では、家庭内のみではたらき
家庭を守る女性や良妻賢母が女性の理想像とされた。「
5 5 解放し、自由で自立的な生き方を積極的にしていこうと
する女性像を指した。3 戦前の日本では労働運動が抑圧
されており、GHQは資本家への富の集中と大多数の低
賃金労働者の存在が、植民地獲得のための対外侵略を進
10 10 める軍国主義の温床になったと考えた。そこで、日本社
会全体の低賃金構造にもとづく国内市場の狭さを解消し
て、対外侵略の基盤を除去する観点から、労働組合の結
成による労働者の地位と購買力の向上をはかろうとした
。4 男女雇用機会均等法。国連総会において1975年を国
15 15 際婦人年に指定し、3回にわたって世界女性会議を開く
など男女平等の促進を推進した。続いて女子差別撤廃条
約が採択され、日本もこれに署名し締約国となった。